

劇場と映画館をむすぶ光のパフォーマンス /
川崎市アートセンター 小劇場×映像館
コラボレーション企画

vol.9



おこんコンコン

アニメーション『おこんじょうり』の上映と、
原作・さねとうあきらの民話を題材にした朗読で、
創作民話作家・さねとうの思いに迫ります。

2026年
4月26日(日)
11:00の回
15:00の回
(各回30分前開場)



上映作品 『おこんじょうり』

脚本・演出:岡本忠成 原作:さねとうあきら 語り・声:長岡輝子 1982年|日本|カラー|スタンダード|26分

【構成・演出】ふじたあさや

【音楽】藤原 豊

【出演】金井由妃、清水川千紘、中野亮輔 ※五十音順

『ゼロ弾きのゴージュ』と宮沢賢治、『ごん -GON, THE LITTLE FOX-』と新美南吉につづく、
演劇と映画のコラボレーション企画の第3弾です。



託児サービスについて

※要事前予約

舞台鑑賞中、3階特設ブースにて保育スタッフがお子さんを預かりします。

対象 2~5歳 諸費用 200円 定員 5名



左記QR二次元コードを読み取り、
メールにてお申込みください。

【予約締切】4月24日(金)

※チケットは別途お買い求めください。

【会場】川崎市アートセンター 小劇場

【料金】おとな子どもペア4,000円(おとな追加 2,000円)、おとな3,000円、U30割2,000円、
(全席指定・税込) 子ども1,500円、シネマ会員2,500円(要会員証・ポイントなし・しんゆりチケットセンター
窓口販売のみ)、障がい者割引2,000円(付添1名まで同額、要障がい者手帳、しんゆりチケット
センターの電話と窓口のみ取扱い)
※推奨年齢は小学生以上 ※U30割=30歳以下(会場にて要身分証明書提示)

【取扱い】しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内) ほか
<https://kawasaki-ac.jp>

おこんヨッヨッ

あきらくん、おこんだよ!

さねとうあきら君。あなたがこの世を去ってから、もう10年になるのですね。信じられません。あなたの原作を僕が舞台化させて貰った作品は、5本もあって、そのほとんどは、今でも上演し続けているのですから。あなたの作品の中で、最初に脚色させて貰ったのは、「おこんじょうり」でした。評判が良く、色々な劇団が上演してくれました。その「おこんじょうり」が、アニメーション映画になって、評判を呼んでいると聞いて、川崎・しんゆり芸術祭のコラボレーション企画で、上映を企画しました。観客や仲間達と映画を観ながら、あなたのことを色々語り合おうと思っています。あなたの創った「おこん」は絵本を飛び出し、舞台にもスクリーンにも登場しているよ、興味あるでしょう。のぞきに来ませんか、いろいろ語り合しましょうよ。都会暮らしの僕たちにとって、戦争とは?、疎開とは?、田舎暮らしとは何だったのか?、とかさ。待ってますよ。

構成・演出 ふじたあさや



2026年
4月26日(日)
11:00の回
15:00の回
(各回30分前開場)



金井由妃

俳優(劇団民藝)
1989年11月28日生まれ 群馬県出身
2012年に劇団民藝入団。舞台を中心に活躍中。特技は声楽、書道。日本語教師資格の国家資格を持つ。
主な出演作品:【舞台】『記憶の危うさについて 第二部 クラウラ』、『ミツバチとさくら』、『ルナサに踊る』他

中野亮輔

俳優
1988年4月1日生まれ 東京都出身
劇団青年座を経てフリーランスで舞台を中心に活動。
主な出演作品:【舞台】松竹『GOYA』、『キャメロット』、東宝『CROSS ROAD』、日生劇場『あらしのよるに』、青年座『横濱短篇ホテル』、『Pカンパニー』『はだしのゲン』【テレビ】『ひよっこ』(NHK)など。

清水川千紘

俳優(劇団民藝)
1997年1月14日生まれ 秋田県出身
劇団青年座研究所卒業後、2019年に劇団民藝入団。舞台を中心にテレビ、アテレコでも活躍中。特技は秋田弁・歌・裁縫。
主な出演作品:【舞台】『ある八重子物語』、『夏・南方のロマンス』、『忘れてもろうてよかです』、『善人たち』他【テレビ】『柚木さんの四兄弟』、『日本の最低男※私の家族はニセモノだった』他



映画『おこんじょうり』



1982年|日本|カラー|スタンダード|26分
脚本・演出:岡本忠成 原作:さねとうあきら
語り・声:長岡輝子

東北のある村。最近へまばかりをしているイタコの婆さまがひとり寝たきりになっていた。おなかをすかせて現れた狐おこんに、罪滅ぼしとばかりに家じゅうの食べものを与えると、おこんはその恩返しに、じょうりを語りはじめ。すると不思議なことに婆さまは元気が満ちてくるのだった。「おこんじょうり」は病気を癒すことができる評判になっていく。
張り子や泥人形のような人形造形とさまざまな技巧が凝らされた動きに情感があふれます。岡本忠成の晩年の最高傑作アニメーション。

【さねとうあきら】

1935(昭和10)年1月16日、東京都大森区(現東京都大田区)生まれ。児童文学作家・劇作家。
1944年、広島県竹原市に縁故疎開。原爆の閃光を輝越しに目撃する。帰京後は中学の演劇部で『総合芸術』の魅力に傾倒。劇団仲間を経て創作民謡を多く手掛け、1972年『地べたっこさま』で日本児童文学者協会新人賞ほか、1979年『ジャンボココの伝記』で小学館文学賞を受賞。「おこんじょうり」、「かっぱのめだま」などの傑作を残し、2016(平成28)年に81歳で逝去。

©株式会社桜映画社 株式会社エコー

チラシデザイン・イラスト 河合さちこ

チケットご購入のご案内

アルテリッカは、ジャンルを超えた芸術の祭典! 絶賛発売中! 良いお席はお早めに

インターネット

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

電話予約

しんゆりチケットセンター

TEL. **044-959-2255**

(9:00~19:30)
※毎月第2月曜日の点検日を除く

窓口販売 (A、B、C、D/地図参照)

A しんゆりチケットセンター (川崎市アートセンター内)
(9:00~19:30) ※毎月第2月曜日の施設点検日を除く

B 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)

C 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内)
(10:00~12:00/13:00~18:00) ※土・日・祝ほか、休業日大学HP参照

D マイタウンチケットセンター マブレ専門店街「写真工房」内
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00)



主催:川崎市アートセンター 共催:川崎・しんゆり芸術祭実行委員会 川崎市 川崎市教育委員会
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



お問合せ先:川崎・しんゆり芸術祭実行委員会事務局
TEL.044-952-5024 FAX.044-955-0431

www.facebook.com/artericca @artericca1

